

黒木西

黒木西小
学校だより
文責：校長 松尾英二

令和6年1月26日(金)

NO.08



令和六年のスタート

体調管理をしっかりとましよう

今年になって、欠席等が少なくなっていました。最近インフルエンザ等に罹患して欠席や出席停止となる子どもが増えてきました。

学校医の富田先生の話によると、最近インフルエンザだけでなく、コロナ、ノロウイルスなどに罹患した人が増えているそうです。気をつけるところは基本的に同じですが、細かいところは違います。それぞれの対応が必要だそうです。

学校では、手洗い、換気、マスクの着用、できるだけ教室内での互いの距離を取ることを指導しています。ご家庭でも、注意喚起や予防等をよろしくお願ひします。

子どもたちが、早く元気になって登校してくることを願っています。



大谷翔平選手から送られたグローブと対面した6年生。素敵な笑顔が見られました。



本年もよろしくお願ひします

令和6年がスタートしました。今年の目標などを考えていた矢先、いろいろなことが起きました。能登地方の大地震、羽田空港の事故、北九州市の火事など。亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々へのお見舞いを申し上げます。これらのことをしっかりと受け止め、もしもの時にどうすればよいか、考えていきたいと思ひます。今年もよろしくお願ひします。

さて、一月九日、子どもたちが登校してきました。静かだった学校は、久しぶりに賑やかになりました。早速、登校してすぐ運動場で遊び始め、久しぶりに会う友だちと冬休みどう過ごしたかなど話をしている声が聞こえました。

全校朝会は、インフルエンザ等の予防も考え、職員室から各教室へオンラインで三月までの見通しなどを伝えました。各教室を回ると、気持ちを学校モードに切り替え、集中して先生の話を聞く姿が見られました。

今年度は、三月末まであと五〇日あまりとなり、今の学年の仕上げをする時期です。特に六年生は卒業に向けて黒木西小学校の文化を下級生に残してほしいと思ひています。そして五年生を中心に、しっかりと受け継いでほしいと願ひます。

主な学校行事予定

- 6年生を送る会（三月五日）
- 卒業証書授与式（三月十八日）
- 一〜五年生 修了式（三月二二日）

大谷翔平選手からのグローブ

一月十七日(水)の夕方、大谷翔平選手からグローブが届きました。ニュースなどで、他の地域に届いたことを聞いていたので、まだかな、そろそろかなと待っていました。職員室で箱を開けてみると、ピカピカのグローブが三つきれいに入っていました。

十八日(木)の朝、六年生から順番に各学級に回して、一人一人触ることができるようになりました。六年生は全員で職員室に取りに来ました。歓声が上がると、遠くから貴重な物を見るような目で、しばらく見ていました。手にはめることを促すと、一人一人手に取って、感触を確かめていました。そこでやっと「かっこいい。」とか「やわらかい。」などの声が上がりました。次に、六年生が五年生教室へ届けました。五年生も歓声を上げるのではなく、静まりかえってグローブをじっくりと見つめています。その後、担任の才田先生の説明を聞き、一人ずつ手に取ると歓声が上がりました。

同封された手紙には、学校に通う子どもたちが野球に興味を持ってもらうために立ち上げたプログラムであること、次の世代に夢を伝え、勇気づけるためのシンボルになることを望んでいることともに、「野球しようぜ。」というメッセージがありました。

今後、各学年に一日ずつ回していく、キャッチボールなどができるようになっていきたいと思ひています。

